

一般社団法人飯田青年会議所 広報誌



未来 6月号
2021.06
vol.61 No.671

未来 みらい 来

編集責任者

ニューノーマル探究委員長
酒向 昭平

一般社団法人飯田青年会議所
長野県飯田市常盤町41番地
TEL. (0265) 23-7875
FAX. (0265) 23-7872
E-mail: info@iidajc.com
URL http://www.iidajc.com

2021 年度 スローガン : Stay Gold



4月例会

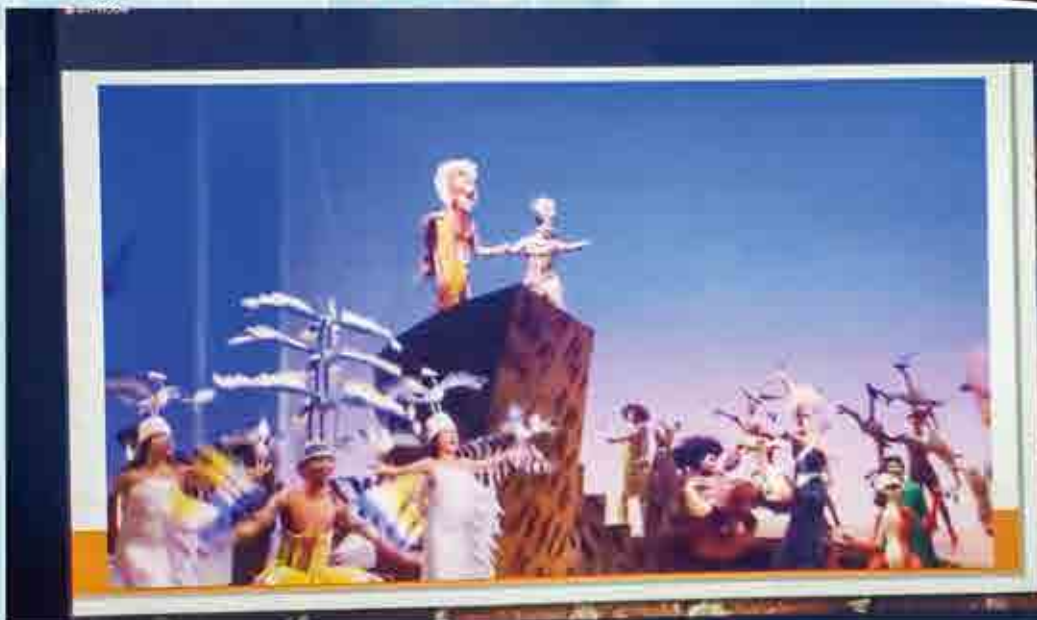
4月例会



4月例会



5月例会



5月例会

4月例会

未来創生委員会
委員長



酒向昭平

去る四月二日、飯田商工会館商店街交流ホールに於いて、当委員会が手掛ける最初の例会が開催されました。「急速に変わりゆく社会の変化を知ろう」をテーマに、新型コロナウイルス感染症の影響が如何に社会に大きな変革をもたらしているのか、その中で地方に住む我々は今何が出来るのか、一般の参加者の方々と共に考え、理解を深めて参りました。

佐藤飯田市長様、熊谷阿智村長様にはプレゼンターとしてご参加頂き、地域の現状から今後の方針や施策まで、変化に対応する地域の姿と希望を示して頂きました。更に、(株)船井総合研究所グループマネージャーの朽尾氏のビデオ放映では、変わり続ける社会構造から、今求められる地域の在り方等、社会全体の変化を学ぶことが出来ました。

万全のコロナウイルス対策の下で行った四月公開例会は会場に約四十名・Web視聴約三十名と多くの方々にご参加頂きました。コロナウイルス感染

症により停滞する社会の中、地方は多くの可能性と希望を秘めており、この変化を前向きに捉え活動することの大切さを学ぶ良い機会となりました。ご参加頂きました皆様、ありがとうございました。

去る四月二日、「急速に変わりゆく社会の変化を知ろう」をテーマに現地参加とZoomでのオンライン聴講のハイブリッド型の公開四月例会が行われました。

4月例会

ニューノーマル探究室
副理事長



久保田大樹

飯田市から佐藤市長、阿智村から熊谷村長をプレゼンターとしてお招きし、コロナ禍における行政のこれからの施策や思い描くビジョンなどをお話し頂きました。講師として、(株)船井総合研究所の地方創生コンサルタントを務める朽尾圭亮氏にWebにて「コロナ禍における社会の変化」等、これから地方の行政や企業がどのような活動を行っていくべきか、その手法としてどんな事を取り入れ何を磨いていくべきかを講話頂きました。その後に行われ

たグループワークでは、この南信州における他地域と比べてのメリットや良い所について議論する事で、佐藤市長、熊谷村長が描く未来のビジョンと、朽尾講師からお話頂いた内容の理解を深める事が出来たと思います。

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、社会全体が暗く落ち込んでゆく中でも、「コロナ禍だからこそ出来るまちづくり」を参加した全員が考える事で、非常に前向きで活発な議論が出来た公開例会となりました。

5月例会

R.O.C委員会
委員長



渡邊祐輝

五月八日、R.O.C委員会の二回目の例会である五月例会を開催しました。五月例会のテーマは「一流を見て、感性を磨こう」、実施プログラムは劇団四季のミュージカル「ライオンキング」を観劇するというものでしたが、新型コロナウイルス感染症が全国的に広まっている影響を鑑み、急遽Zoomでの開催に変更しました。

ミュージカルファンの生の声や、劇団四季の子役が役を得るまでの熾烈な争いを描いた動画をみることで、劇団

四季の「ライオンキング」が一流と言える所以を感じて頂ける例会になったと信じております。

当委員会の事業方針には「若者の新たな感性と共にこのまちを元気にする」という主軸があり、子役が夢を熱く追いかける姿に胸を打たれ、子役の気持ちを知ることで、当委員会の一年間の活動を行っていく上で重要な学びとなる例会になりました。

最後に、この場を借りて、名古屋行き中止という急な判断に対応頂き協力頂いた皆様、当例会にご参加いただいたメンバーに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。引き続き、R.O.C委員会のこれからの活動へのご助力を宜しくお願い致します。



5月例会



R.O.C委員会
副委員長

林 直彦

「二流に触れる」という事で我々委員

会が準備を重ねてきた、名古屋劇団四季劇場に於けるミュージカルライオンキング鑑賞でしたが、愛知県の蔓延防止措置、ならびに首都における緊急事態宣言の延長、感染者数の拡大等を踏まえ、名古屋行きは中止という判断になりました。中止にするのは簡単でしたが、委員会として何が出来るかを考え、Zoom会議による劇団四季の一流たる所以をプレゼンすることに致しました。

委員会としても、調べれば調べるほど劇団四季の事が好きになり、良いプレゼンが出来れば出来るほど、名古屋へ行けなかった事が悔やまれる例会となってしまうました。活動が制限されると、思考も停滞し、なかなか前向きな発想になりません。仕事ならまだしも、青年会議所という団体において、コロナによる停滞感は何に見えて我々を蝕んでいます。
しかしながら、今後も続くであろうこの状況に対し、だからこそ考えられ

る最高の一手の為、我々は今進んでいます。様々な壁が立ちはだかっている世の中ですが、この一年が終わった時には青年会議所の存在意義をより感じられるような活動をしていこうと思っておりますので、皆様のご助力の程よろしく願っています。

5月例会



Neisho
副理事長

阿部俊平

去る令和三年五月八日(土)に五月

例会が開催されました。本例会のテーマは「一流を見て、感性を磨こう!」とし、当Neisho R.O.C委員会の担当する例会でした。本例会はメンバーが一流を体感するために劇団四季のライオンキングを観劇するという内容でしたが、新型コロナウイルスが猛威を奮い、観劇に向かう予定だった愛知県に緊急事態宣言が発出されたため、例会直前でZoom開催に変更するという事態になりました。そのような状態でも委員会の臨機応変な対応により、無事開催できた事にまずは感謝申し上げます。委員会のまとめた劇団四季のプレゼンテーションでは、劇団四季が日本のトップクラスである理由や今まで知ら

なかった情報を聞くことができました。そして、ライオンキングの演者に焦点を当てたドキュメンタリー映像を見ることで狭き門に向かう覚悟や、公演前までの厳しいトレーニングについても知ることができました。この学びを通して、一流のコンテンツを学んだ事で、メンバーの感性が磨かれ新しいまちづくりに向けた新たな一歩になったと感じました。

最後に、コロナ禍の難しい状況の中、工夫をしながら例会を作りあげていた委員会メンバーの姿が、未来を作る青年としての新たなカタチだと大いに感じました。ありがとうございました。

活動所感



専務理事

小林大悟

昨年から続く新型コロナウイルスの感染拡大により、本年度の飯田青年会議所の活動も大きく影響を受ける状況になってしまいました。

例年であれば、長野県で活躍する他の青年会議所メンバーと交流を深める事業が、四月頃から活発になります。「野球大会」もその一つで、本年度は飯田の地で開催する予定となっていました

が、中止が決定しました。専務理事として、私が設営にあたっていたこともあり、非常に残念に思っています。ですが、大会の準備を進める中で、飯田青年会議所以外のメンバーとも連絡を取り合う時間が増え、県内メンバーとの信頼関係を深めることに繋がりが、良い経験ができたと感じています。

「野球大会」と同じく、長野県内の青年会議所メンバーと交流できる機会として、会員会議所会議があります。これは、県内に十七ある青年会議所の理事長や専務理事が一同に集まり、長野県全域を対象にした事業の内容などを議論する場です。会員会議所会議の場合、オンライン開催に変更することで、中止になることはほとんどありません。しかし、多くのオンライン会議を経験する中で、対面で開催する会議や交流の良さも大きく感じるようになりました。

今後も新型コロナウイルス感染症の影響は続くと思えますが、青年会議所の活動が与えてくれる意味を常に考え、行動していきたいと思えます。



新会員抱負



未来創生委員会
新会員

平田慎二郎

本年度一月から入会させて頂きました平田慎二郎と申します。飯田信用金庫に勤務しており、現在はインターネットバンキング等のシステムに対応する業務を担当しております。

生まれ育ったこの飯田下伊那の地域に貢献したいという思いからこの地で就職をしました。自身に何が出来るか、この地域にどのように貢献できるかを考えていたところ、(一社)飯田青年会議所の皆さまの活動を知り、感銘を受けたのが入会のきっかけです。

活動に参加させていただく中で、青年会議所や地域の皆さまと繋がりができること、意見を共有出来ることに大変魅力を感じています。

青年会議所や地域の皆さまと共に活動を通して自身の成長をはかり、地域の発展に貢献できるよう努めていきますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

編集後記

今年の梅雨は統計を取り始めてから最も早い梅雨入りとなり、現状では梅雨明けも早くなるという見通しはなく、全国的に長梅雨となる可能性があるとのことです。

新型コロナウイルスにおける緊急事態宣言が延長される等、こちらも明ける様子は中々見えてきません。目まぐるしく変化する社会によって青年会議所の活動も制限せざるを得ない状況になっております。

このような状況の中ではありますが、この状況の中で何が出来るかを考え話し合うことでより良いものになって行くと考えます。感染症まん延防止対策をし、オンラインWeb会議等を駆使しながら活動を続けて行くことで、現状の状況の打開策になると信じています。

明けない夜はないと信じて青年会議所の活動をはじめ、あらゆる物事に前向きに取り組んでいきましょう。

編集担当 S・H



会員・スタッフ 募集



<http://www.iidajc.org/>

私達飯田青年会議所は、

共に活動する仲間を大募集しています。

メンバーとして一緒に活躍したい方、

又は様々な企画のスタッフとして力を貸して頂ける方、

もちろん事業への参加者としてご協力頂ける方大歓迎です。

是非一緒に楽しく活動し、

明るい豊かな飯田・下伊那の未来を築きましょう。